

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】 膠原病関連間質性肺疾患(CTD-ILD)における臨床経過、治療反応、死亡および急性増悪に関する後ろ向き観察研究

【当院研究責任者】 部署名 呼吸器アレルギー疾患内科 氏名 片岡 健介

【研究の背景】

膠原病（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎/皮膚筋炎、全身性強皮症など）は、免疫系の異常により全身のさまざまな臓器に影響を及ぼす病気です。これらの病気では、肺に影響が及ぶこと（間質性肺疾患）があり、予後に大きく関与することが知られています。しかし、膠原病の種類による肺病変の進行のしかたや、治療の効果、急に悪化する場合の背景などについては、まだ十分にわかっていない部分があります。

【研究の目的】

公立陶生病院で膠原病に伴う間質性肺疾患(CTD-ILD)と診断された患者さんの診療情報を後ろ向きに調べ、病気の経過、治療の効果、急な悪化の特徴、膠原病の種類ごとの違い、および治療薬（抗炎症治療、抗線維化薬）の使用実態を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

膠原病に伴う間質性肺疾患（CTD-ILD）の患者さんで、2007年4月から2026年2月の間に公立陶生病院で診療を受けられた方

●研究期間：倫理委員会承認日から2031年3月31日まで

●利用するカルテ情報

- ・ 患者背景（年齢、性別）
- ・ 基礎膜原病の種類、自己抗体に関する情報
- ・ 血液検査結果
- ・ 呼吸機能検査結果
- ・ 胸部CT画像所見
- ・ 治療内容[薬剤（抗炎症治療、抗線維化薬）の種類、開始・変更時期]
- ・ 治療反応、急性増悪の有無
- ・ 予後に関する情報（入院歴、転帰など）

●利用するカルテ情報の管理

カルテ情報は、当院のみで利用しますが、共同研究機関である愛知医科大学との間で匿名化された情報を共有することがあります。

[研究組織]

この研究は、愛知医科大学病院との共同で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

- ・研究代表者（研究の全体の責任者）：

公立陶生病院 呼吸器アレルギー疾患内科 片岡健介

[個人情報の取扱い]

研究で利用する情報には個人情報が含まれますが、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器アレルギー疾患内科 氏名 片岡健介

電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139